

## TOTO

TN901B型

## 床給水止水栓（樹脂配管用）


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

# 1 安全上の注意



(安全のために必ずお守りください。)



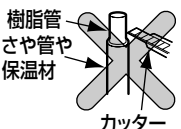
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。





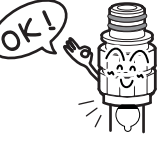
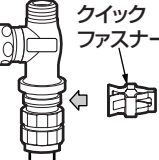
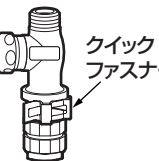
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

注意		
 <b>禁止</b>	<p><b>JIS品以外の樹脂管は使用しない</b></p> <p>水漏れの原因になります。使用可能な樹脂管は、下記規格に当てはまる呼び径13のもです。なお、設置条件（給水温度・圧力）については、それぞれのJIS内容に準拠します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JIS K 6769-1999 架橋ポリエチレン管M種（E種電気融着式は不可）</li> <li>・JIS K 6787-1997 水道用架橋ポリエチレン管M種（E種電気融着式は不可）</li> </ul>	
	<p><b>さや管や保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない</b></p> <p>水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

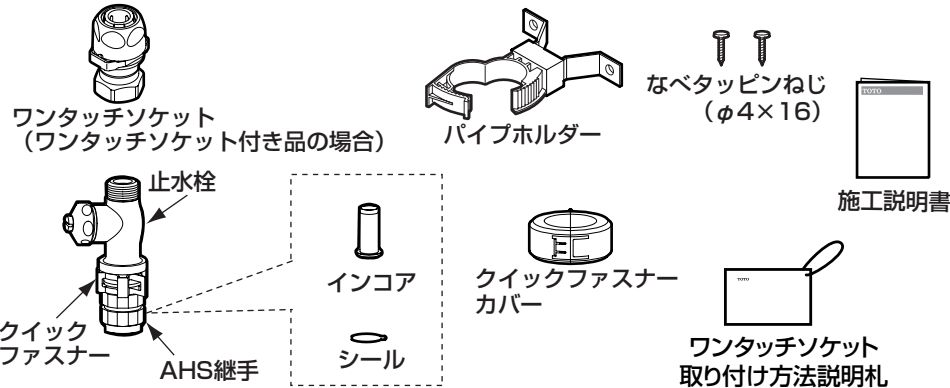
注意		
 <b>分解禁止</b>	<p><b>AHS継手の分解・改造は行わない</b></p> <p>分解・改造箇所から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 <b>必ず実行</b>	<p><b>AHS継手の内部に異物がないか、樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する</b></p> <p>傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す</p> <p>水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p><b>樹脂管がAHS継手に確実に接続されていることを必ず確認する</b></p> <p>不完全接続の場合、樹脂管が抜け、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p><b>クイックファスナーは必ず同梱品を取り付ける</b></p> <p>市販品や類似品のファスナーを取り付けると、ファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p><b>止水栓とAHS継手はすき間ができないように確実に押し込む</b></p> <p><b>クイックファスナーは正しく取り付け、目視や鏡で確認する</b></p> <p>取り付けが不完全な場合、外れて水漏れの原因になります。</p>	

## 2

# 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

### 同梱部品

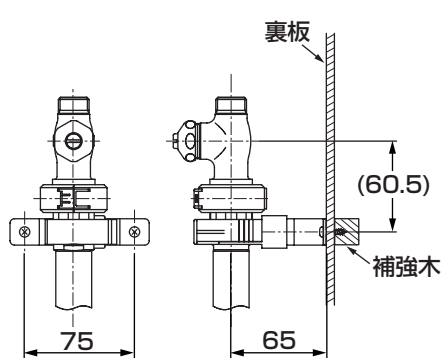


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

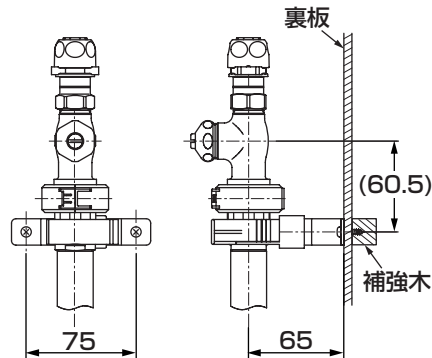
## 3

# 完成図

### ワンタッチソケット無し品の場合



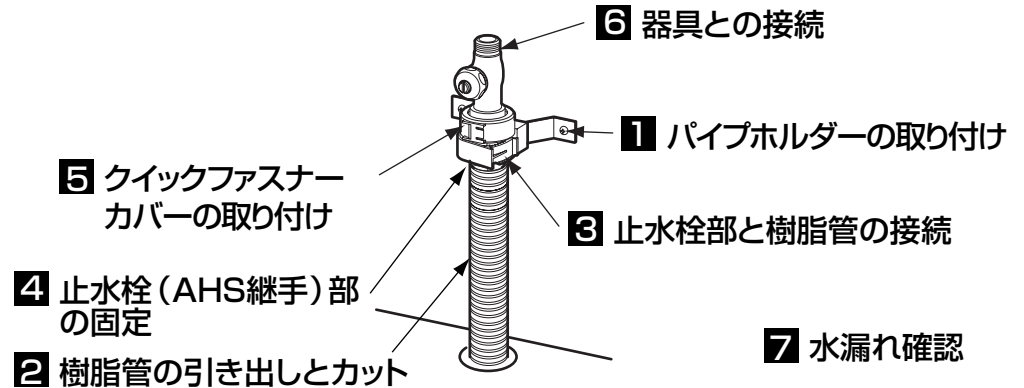
### ワンタッチソケット付き品の場合



## 4.1

# 施工手順

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



### 1 パイプホルダーの取り付け

①パイプホルダー (止水栓の保持用) (完成図参照) の取り付け位置を決める。

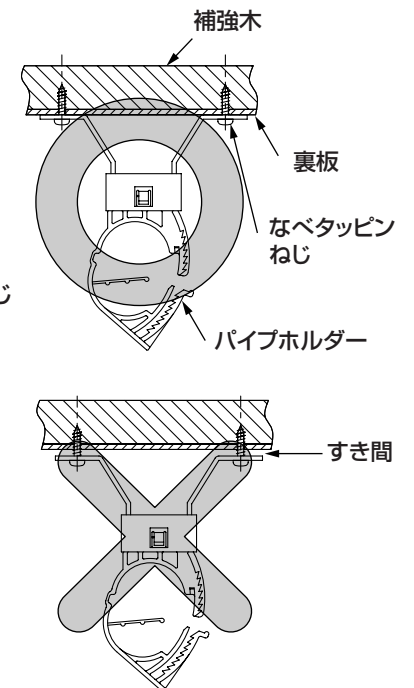
※取り付け位置は、水栓側の施工説明書で確認してください。

②パイプホルダーを裏板との間にすき間ができないように、ドライバーを使って2本のなベタッピンねじで均一に取り付ける。

※電動ドライバーを使用する場合は、裏板や補強木が割れる場合がありますので注意してください。

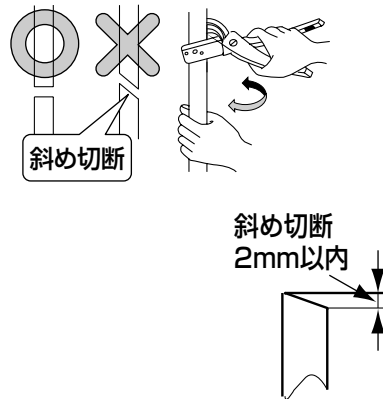
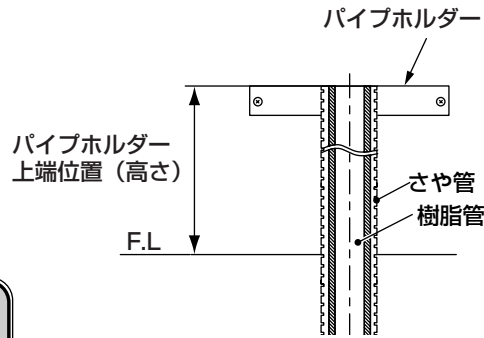
### 注意

なベタッピンねじの締め付けは、  
確実に行ってください。  
ガタツキの原因になります。



## 2 樹脂管の引き出しとカット

- ①床下より樹脂管(さや管付き)を引き出す。
- ②樹脂管をパイプホルダー上端(樹脂管切断位置)でパイプカッターを用いて管軸に直角にカットする。



**注意**

- 樹脂管を引き出す時は樹脂管に傷が入らないように行ってください。樹脂管に傷が入ると水漏れの原因になります。
- パイプカッターを用いて切断面が管軸に直角になるよう切断してください。斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れの原因になります。

**必ず実行**

### 10mm保温材付きの場合

樹脂管が10mm保温材付きの場合は、施工状況に応じて保温材をカットするなどして、適宜現場にて調整してください。

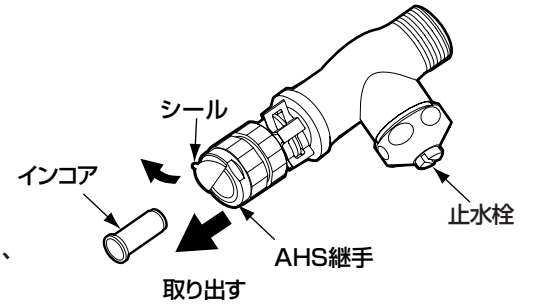
**注意**

**禁止**

さや管および保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れないでください。カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しないでください。樹脂管に傷が入ると水漏れの原因になります。

## 3-1 止水栓部と樹脂管の接続

- ①AHS継手シールをはがし、インコアを取り出す。
- ②はがしたシールをインコア端部に合わせ、樹脂管に貼る。  
※シールは、さや管を下に押し下げて、樹脂管に貼ってください。
- ③インコアを根元まで樹脂管に挿入する。



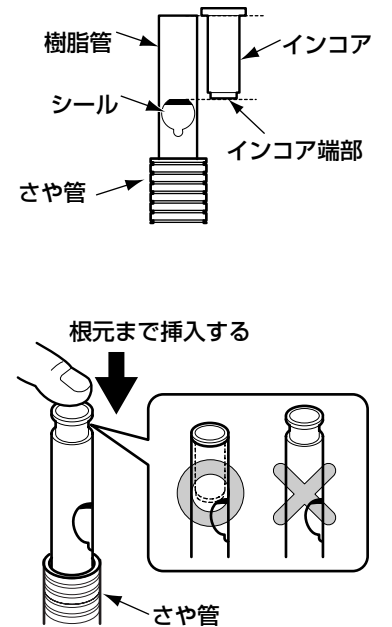
- ③インコアを根元まで樹脂管に挿入する。

**注意**

- 樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認してください。傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直してください。
- インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入してください。
- インコアと切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直してください。

**必ず実行**

傷や汚れ、斜め切断は、AHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れの原因になります。

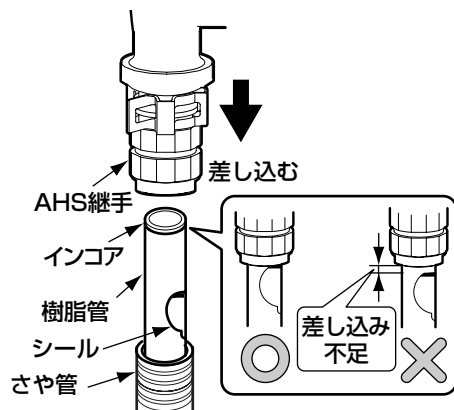


## 3-2 止水栓部と樹脂管の接続 (つづき)

④ さや管を下に押し下げて、樹脂管にAHS継手を差し込む。

### 注意

**必ず実行**  
**AHS継手はシール位置まで差し込んでください。**  
 差し込み不足の場合、樹脂管が抜け、水漏れの原因になります。

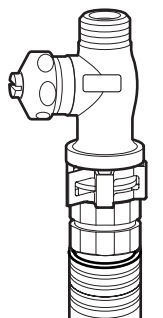


⑤ AHS継手に樹脂管を差し込んだ後、引っ張って抜けないことを確認する。

⑥ AHS継手を少し回転させ、樹脂管となじませる。

### 注意

シールは樹脂管からはがさないでください。検査時のシールによる確認ができなくなります。



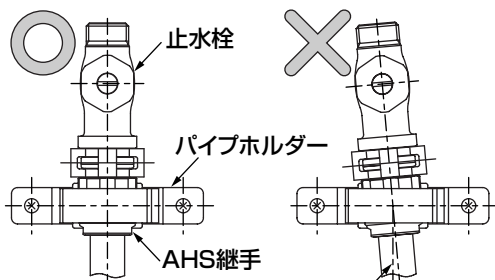
取付状態図

## 4 止水栓 (AHS継手) 部の固定

AHS継手をパイプホルダーではさみ込み、確実に固定する。

### 注意

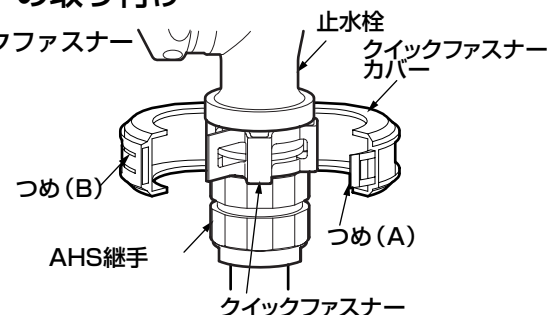
パイプホルダーに対して止水栓が斜めにならないように、AHS継手をはさみ込んでください。はさみ込みがゆるかったり、斜めになっていると、ガッツキの原因になります。



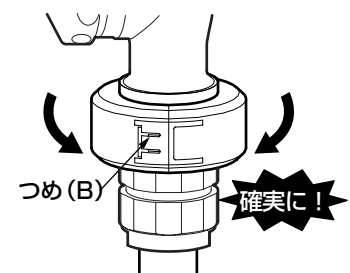
斜めにはさみ込まない

## 5 クイックファスナーカバーの取り付け

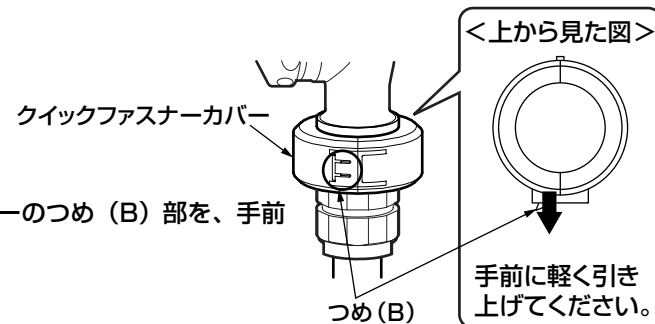
① クイックファスナーカバーをクイックファスナーにかぶせる。  
 ※上下の方向性はありません。



② クイックファスナーカバーのつめ (A) を反対側のつめ (B) に確実にはめる。



③ クイックファスナーカバーを左右に引っ張って、クイックファスナーカバーが外れないことを確認する。

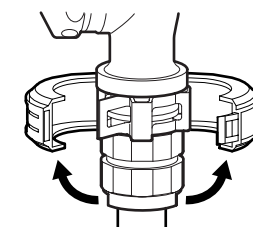


### <取り外し方法>

① クイックファスナーカバーのつめ (B) 部を、手前に軽く引き上げる。

手前に軽く引き上げてください。

② つめ (B) 部を引き上げたまま、クイックファスナーカバーを左右に広げる。

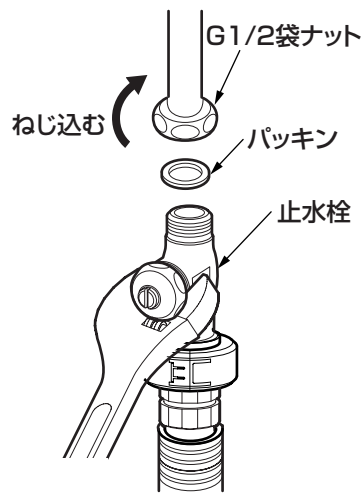


裏面へつづく

## 6 器具との接続

### ワンタッチソケット無し品の場合

- ①器具側のG1/2袋ナットにパッキンを入れ、止水栓にねじ込む。
- ②手締めにてねじ込んだ後、さらにモンキースパナなどで約1/4回転程度、増し締めする。



### 注意



必ず実行

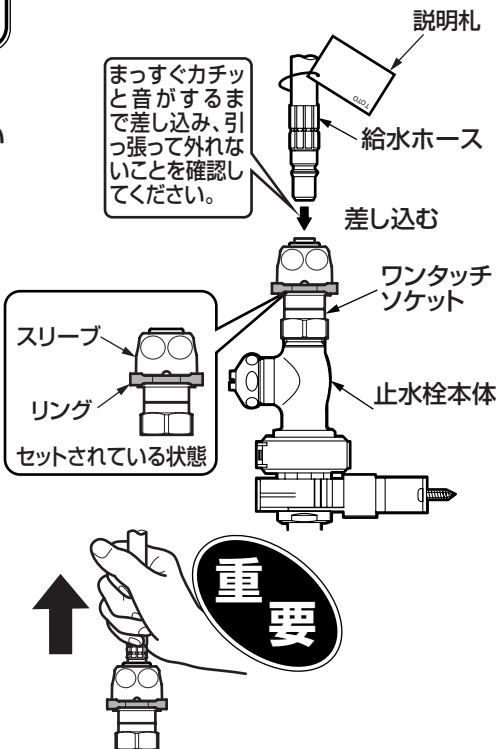
- 必ず同梱のパッキンを入れてください。
  - 必ず工具を使ってねじ込んでください。
- ゆるんで水漏れの原因になります。

### ワンタッチソケット付き品の場合

- ①リングがスリーブの下にセットされていることを確認する。
- ② 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッ と音がするまで）確実に差し込む。  
確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。  
※ホースを外す場合は、この説明札を参照してください。

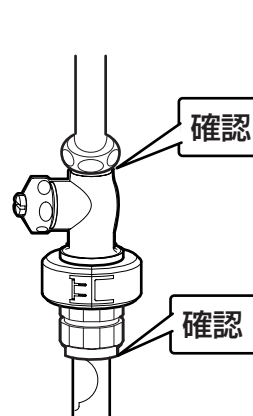
- ③ホースをまっすぐ引っ張って外れない（抜けない）ことを必ず確認する。



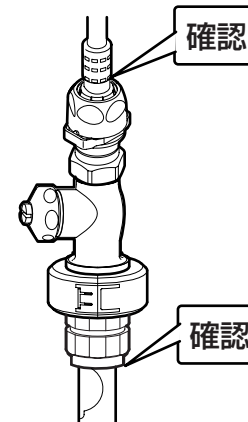
## 7 水漏れ確認

器具取り付け後、耐圧検査を行い、接続部からの水漏れが無い事を確認する。

### ワンタッチソケット無し品の場合



### ワンタッチソケット付き品の場合





# 5

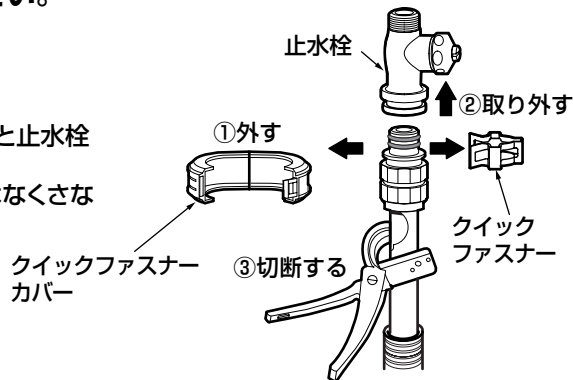
## メンテナンス方法

AHS継手のインコアを入れ忘れた場合やAHS継手を取り替える場合は次の要領で接続し直してください。

①クイックファスナーカバーを外す。

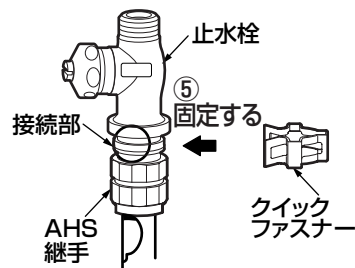
②AHS継手からクイックファスナーと止水栓を取り外す。  
※取り外したクイックファスナーはなくさないように注意してください。

③樹脂管を切断する。



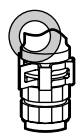
④新しいAHS継手(別売品)を樹脂管に接続し直す。  
接続要領は 4-2 施工手順の 3-1 ~ 4-3 3-2 を参照してください。

⑤AHS継手に止水栓を取り付け、クイックファスナーで固定する。



### <クイックファスナー取り付け上の注意>

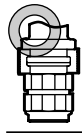
「差し込み不足」、「片側取り付け」、「斜め取り付け」などの誤接続をしないようご注意ください。



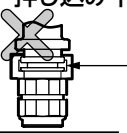
正しい



差し込み不足



正しい



片側取り付け



斜め取り付け

押し込み不良(すき間)

⚠ 注意	
 分解禁止	<p>●AHS継手を分解し、再利用しないでください。 水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>●止水栓とAHS継手はすき間ができないように確実に押し込んでください。 ●クイックファスナーは正しく取り付けてください。目視や鏡でご確認ください。 取り付けが不完全な場合、外れて水漏れの原因になります。</p>

⑥クイックファスナーカバーを取り付ける。

